

一般社団法人 福井県身体障害者福祉連合会
会 長 橋本 輝男 様

福井県健康福祉部障がい福祉課長

要望事項に関する回答について

日ごろから本件の障がい福祉増進のために格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、令和 4 年 10 月 18 日付け身障連第 59 号によりご要望のあった件について、以下のとおり回答いたします。
つきましては、貴団体の会員の方に周知いただきますようお願いいたします。

記

○ 要望事項 1

障がい者が確実に避難できる障がい者の特性に配慮した福祉避難所の確保について、地域間格差が生じないよう市町への支援や指導をしていただきたい。

また、福祉避難所の設置が進むよう福祉避難所を開設した介護施設等に対する県独自の支援制度の新設等を検討していただきたい。

さらに、市町村に対して努力義務とされた個別避難計画の整備が進むよう市町に対する支援の強化と指導をしていただきたい。

【回答】

災害時において、障がいのある人が確実に避難できる福祉避難所について、地域間格差が生じないよう、福井県災害福祉支援ネットワーク協議会において市町への支援や助言を行い、障がいのある人の特性に配慮した福祉避難所の確保や充実を図っていきます。

また、市町が、災害発生時の在宅障がい者の個別避難計画を作成できるよう支援し、避難体制の整備を推進してまいります。

○ 要望事項 2

介護を必要とする視覚・聴覚言語障がい者の利用数に関係なく、1 人や 2 人でも十分な介護サービスが受けられるように、介護施設に対する県独自の支援制度の新設をしていただきたい。

【回答】

介護が必要となった障がいのある方に対しては、障がいのある人の相談やニーズに適切に対応するため、市町や相談支援事業所、地域自立支援協議会、地域包括支援センター等の関係機関の連携を強化し、介護保険施設でのサービス等が適切に受けられるよう努めていくとともに、介護保険施設職

員に対して障がい特性に応じた支援方法に関する研修についても実施していきます。

○ 要望事項 3

福井県内で鉄道駅の無人化やみどりの窓口の廃止が進んでおり、障がい者（視覚障がい者、聴覚障がい者、車いす使用の身体障がい者等）が安全かつ円滑に駅の利用ができるよう環境を整備することが大変重要である。そのためには、鉄道事業者や自治体等において安全対策等が確実に進むよう、県が中心となって全国の好事例を踏まえ、財政的な支援や指導をお願いしたい。

【回答】

関係部局が連携し、地域住民に必要な移動手段である鉄道について、駅のバリアフリー化を市町や事業者とともに進めてまいります。

○ 要望事項 4

除雪により点字ブロックが確認できなくなり、安全な歩行の支障となるため、点字ブロックに沿った歩行路の確保を優先に除雪をお願いしたい。

【回答】

視覚障がいのある方が、安心・安全に外出し、社会参加するために、点字ブロックは必要不可欠です。ご要望について、除雪に関する担当課にしっかりとお伝えするとともに、歩道を管理する市町等関係機関への周知を依頼したところです。

○ 要望事項 5

今年度、しあわせ福井スポーツ協会が実施した「福井しあわせパラ☆スポーツデー」などの事業を年間行事として年1回嶺南会場で実施していただきたい。

【回答】

県では、障がい者アスリートによる障がい者スポーツの体験・講習会（出前講座）を県内各地で開催し、障がいの有無にかかわらず参加者が広く交流することにより、障がいに対する県民の理解の促進を図っております。また、年齢や性別、障がいの垣根なく、誰もが楽しむことができるeスポーツにも焦点をあて、障がい者の活躍する場や健常者との交流を深める機会を創出していくこととしております。このような行事を積極的に行い、県内各地での障がい者スポーツの普及に努めていきます。